



地区広報

おやまだ

第 19 号

平成11年 3月 5日

もろすぐ一年生



夢と

希望を胸に

ねこ柳写す小川の水はぬる
み、春はもうすぐ。

さくらと共に、小山田小学
校へ入学する児童は四十三
名。

運動会に招かれ、お姉さん
と手をつないで満面の笑み。

水谷滋子校長先生を先頭に
場内を行進し写真、温かい声
援を受けました。

次世代の小山田をにない、
すこやかな成長を願うと共
に、私たちは明るい社会、心
の通う住みよい環境を作らな
ければなりません。

新世紀まであと二年。大き
な夢と希望を胸に、未来に向
かって、元気に羽ばたくこと
でしょう。
〔萩 伸元〕

主な内容

P	
2・3	特集 ふれあいのある 地域福祉を めざして
4	民生委員紹介
5	おやまだスポット
6	活動の報告
7	歴史探訪
8	この人訪ねて・文芸

ふれあいのある 特集

地域福祉をめざして

共に生活している私たちは、お互いに助け合いながら、よりよい地域を作るため、力を合わせて様々な社会福祉活動にとりくみ、より大きな地域福祉へと育てていきたいと思ひます。



困った時は気軽に民生委員へ

民生委員 矢田 俊巳

私が民生委員・児童委員の委嘱を受けたのは、六年前の平成五年の時で四十六歳でした。会社勤めの私に重責な民生委員が務まるのか、正直なところ不安もありましたが、地区の先輩により指導をしていただき、何とか今日まで種々の問題に対応してこることができました。

六十五歳以上の寝たきり老人が十三名、痴呆性老人が七名、重度障害者が四名みえます。これらの方々、在宅でより快適に過ごされるよう願っています。

また、平成十二年四月よりスタートする介護保険制度については、現在のところ詳細な内容まで決まっています。が、リーダー研修会と各種講

演会及び小山田小学校への参加などで、在宅介護の勉強をしています。

お年寄りが安心して生活できる小山田をめざして、地域の方々と共に、信頼される民生委員として活動していきたい

安心して暮らせる地域

小山田をめざして

青山里会 川村 澄

いと思っています。

今後、更に高齢社会が進み、各地区の民生委員の方々が色々な立場でお世話させていただくこととなりますが、家族関係、住居、保健医療、仕事、生活費、年金、健全育成等でお困りの時は、お気軽に近くの民生委員まで、相談していただきたいと思っています。



私たちは今、何事も無い毎日を過ごしているとつい、板子一枚下には何があるかまで思いが至らない。しかし、どこかで一抹の不安を持ちながら毎日の生活を送っている人々が、大部分ではないでしょうか。

その中には、寝たきりになつたらとか、痴呆になつたらとか、介護の重荷を背負うことになつたらとかの不安も含まれていることと思ひます。

来年四月より実施される介護保険をめぐって、巷でも種々な議論がされております。

介護保険の仕組みが本当に必要となつた人々とその家族にとって手厚いものとなつているか、いよいよその姿を見せる時期が迫つて参りました。

私共の敷地内には、種々な施設が点在しております。自立した方々から寝たきりの方々、痴呆の方々までお暮らしいただいております。その為にその方々がどのような心身状態になられても、対応できるシステムができております。

でも、果たしてそれだけでよいのであろうか。普通の暮らしぶり、地域に受け込んだ暮らしになつていくか。また、本当に安心して暮らしてゆける地域とは、どのようなサービス、システムがあればよいのだろうか？

まずは身近な小山田の地を安心して暮らせる地域にしたという、大きな夢を実現させたいと話しているところです。

家庭教育のたいせつさ



山田町 須藤 愛子

公園デビューしたくても公園がない。地区で唯一の保育園もなくなくなってしまった現在、子育て中のお母さんたちが地域でつながりを持てるよう何らかの子育て支援活動があればいいと思います。

昨年センターで実施された子育て講座などについて、講師は外部に依頼されるのも結構ですが、地区の自治会、婦人会、子供育成会、老人会の方々であれば、身近に子育て経験のお話しを聞くことができ、実際に役立つのではないのでしょうか？講師なんて堅苦しく考えないで、若い人の知らない昔の遊びとか、物作りを一緒にすれば、その中で話しもはずみ、子育てについても教えていただいたり、相談できるのではないのでしょうか。

地域で何か問題が起きると社会とか学校に責任を問う以前に、家庭教育の大切さをひしひしと感じております。一番長い時間生活する家庭で基本的な生活習慣が身につけていけば、問題は起こらないと思います。子供の自主性に任せていますという親御さ

んが多いようですが、裏を返せば親としての躰ができていないように思います。

親子、家族の対話がよくなされていれば、家庭内の愛情に包まれて子供は素直に育つのではないのでしょうか？

少子化の時代、次世代の子供の育成に地域の一員として何かお手伝いできることがあれば、喜んで参加させていたいただきたいと思えます。

福祉活動 積極的に参加！



西山町 窪田 美幸

福祉ということにはよく聞くのですが、今まであまり身近に感じませんでした。そこでまず、辞書を引いて考えてみることにしました。

「福」も「祉」もしあわせの意。満足すべき生活環境・多くの人の幸福・公的扶助による生活の安定・充足など、と書かれていました。福祉とは意外に身近なことなんだなと

思いました。

また、この広報を発行しているのは社会福祉協議会だということも思い出しました。

この会は、自治会員やPTA子供会、婦人会、老人会など各種団体により構成されています。我が家は自治会はもちろん、小学生がいますのでPTAにも子供会にも入っています。ですから、私自身が福

健康で 充実した 生活を



山田町 矢田 節男

まだ若いと思っていた私ですが、更年期を迎える年に達しました。昨年父が病気で亡くなり、母は目、耳、足がめつきり弱くなってしまいました。そのせいか元気なお年寄りを見かけるたび、健康が一番大事、健康であることに感謝しなければいけないと感じるようになりました。

福祉ということばの持つ意味はとても大きく、また広い範囲での考え方があります。私は福祉で浮かんできるのは、高齢社会です。老後を充実した、満足のいくものにするかどうか、少し不安があります。老後の趣味など話題になり耳をかたむけるのです

が、趣味を持つことは、肉体的にも精神的にも社会的にも、健康で暮らすための良い手段と考えます。幸い、この地区には福祉施設があり、私は今その中の陶芸に参加し、住民との交流の場として利用しております。また、趣味と観光を兼ねての鉱山巡りなども、退職後は行動範囲を広げ、時間を費やしたいと考えています。

病気がちの親と暮らして感じるのは、病気になること、本人はもろろんのこと、家族にもたいへんな苦労があります。少しでも家族が楽になれるように、家庭での看護、また食事療法の支援などを充実させてほしいと思います。老後も健康で充実した生活を送れることを、願っています。

西陵中三年生 車イス体験



昨年十二月九日から十三日まで、四日市市文化会館で開かれた「人権のひろげ展」に西陵中学校三年生が取り組んだ障害者問題についての学習内容が展示されました。その中の一部を紹介しま

まず感じたことは、町にはさまざまな段差があるということです。普通の道でも前に進むのが大変で、たとえば三センチの段差であっても、一人ではなかなか動かせませんでした。ですから道路は段差ではなく、スロープがあるととても便利だということがよく解りました。私たちが気づかないようなことが身体の不自由な人たちにとっては、すごく困難なものであるということがよく解りました。車イスで困っている時、後ろから押してくれた人があつて、とても嬉しかったです。身体の不自由な人をみかけたら、周りにいる人たちが「何か手伝いましょうか」など勇気を出して一言声をかけ、皆で助け合える社会を築いていきたいなと思いました。

地域の福祉を支えます

地域福祉のため奔走していただきます地区民生児童委員さん
皆さんに抱負を聞かせていただきました

内山町

矢田 俊巳

平素は、民生児童委員活動についてご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
今後、微力ながら精一杯がんばって、町内の福祉活動を中心に継続させていただきます事になりましたので、よろしくお願いたします。



六名町

中村 典子



地域社会のことをよく知って、さまざまな生活上の助っ人役として、「目こぼしのないように」「てぬかりのないように」務めたく思います。どうぞよろしくお願いたします。

鹿間町

西田 輝美



昨年十二月に民生委員を委嘱後、三回の講演、研修の中で活動範囲の広さと大切さを知りました。
また二千年には介護保険がスタートします。出来るだけ多くの行事に参加し、先輩方の指導を受けながら、少しでも地域に貢献出来るよう心掛けたと思います。

和無田町

井上 輝己



一九九九年、今世紀最後の年が近づき、新しい世紀に向かって繁栄発展を望むところですが、長引く不況、政治の混乱など厳しい状況が続くこの時期に、大役をお受けして重責を感じ不安でいっぱいです。
諸先輩のご指導及び地域の皆様のご協力を賜り、社会福祉活動にがんばります。

山田町東

中澤 幸子



民生委員を拝命して二期目に入りましたが、地域の皆様いろいろなご協力いただき感謝申し上げます。さて、高齢化が進む中、地域福祉のニーズに耳を傾け、地域の実態を把握し、行政と皆様とのパイプ役となれます様、一層努力をさせていただきますかねばと思っております。どうぞよろしくお願致します。

山田町西

竹内 まつ子



一期三年間を無我夢中で務めさせていただきました。
元気な毎日を送っていらっしゃるお年寄り、生きがいを持ち、前向きに歩んでおられる方など、私の方が教えられる毎日です。微力ですがこれからも皆様のお役にたてる様頑張りますので、どうぞよろしくお願致します。

西山・美里町

矢田 洋子



昨年十二月より西山、美里町の民生委員を拝命しました。その中で高齢者の一人暮らしが多いのに驚きました。
この先いろいろ勉強させていただきますが、未熟な私ですが、何かお役に立てればと思っておりますので、今後共よろしくお願いたします。

小山町

黒田 敏彦



責務の重大さを思うと身の引き締まる感じがします。
高齢社会を迎え、住民の立場に立った活動を目標として、地域の状況を把握すると共にみなさんの手先となるようつとめます。
又、活動面に、過去の経験を生かすことが出来たらと思っております。

堂ヶ山町

緒方 悦子



自治会役員、前役員の方々の励ましを頂き、この土地に生まれ育った私が、少しでも地域のお役に立てればと、お引き受けいたしました。
福祉のアンテナを立て、行政や専門機関との橋渡しが出来ます様に、努力して参りたいと思えます。どうぞよろしくお願いたします。

主任児童委員

長田 里美



今の世の中、悩みを相談できず苦しんでいる子がたくさんいます。それは大人が守ってあげなければなりません。私はその中で、少しでも手助けになればと思っております。どうぞよろしくお願致します。



和无田町の ふれあい 広場

おやまだ スポット

天王祭の盆踊り

山田町

夏祭りの始まりを告げる山田町、加富神社の天王祭。毎年七月十四日に行われる奉納盆踊りは、大勢の氏子や各地の青年団などの参加でにぎわいます。初夏を迎える行事の盆踊りは、山田町からと定着しています。



十一月二十九日、町内清掃とふれあい広場が開催され、町の方がごぞつて参加し、楽しく充実した一日となりました。

六名町子供会の日曜学校



前住職さんの時代より、長年続いている活動で、現在は夏休みの十日間、子供達が、光輪寺に集まって、お念仏や道徳の話聞いています。

念願の集会所完成 六名町自治会

長年の念願であった集会所が昨年十一月より建築に着手し、このほど完成の運びとなりました。建物は平屋建て約百四十六平方メートルの広さです。町内の南端、鹿間町に通じる道の東側にあります。この施設ができたことの地区住民の喜びははかりしれないものであり、関係者各位の温かいご協力の賜物と感謝しております。

集会所は今後、農業の振興、生活福祉、各種団体の会議、冠婚葬祭など、地域の発展の拠点として、有効に活用されることを期待しています。

(自治会長 森田正則)



小学校の芋煮会



10月29日、小学校で芋煮会がありました。老人ホームの方々も招待され、いもチャンピオンを選んだり、歌や劇もあり、楽しいひとときを過ごしました。



りっぱにでき上がった集会所

活動の報告

山田町 今村仁一郎さん 市文化功労者に

氏は昭和十八年に吟詠を始め、昭和三十二年に四日市岳風会（昭和三十六年三重岳仁会に改称）を設立、会長として吟詠指導と会の組織運営に尽力し、県下最大の吟詠団体に育てられました。昭和四十六年から山田町に住み、自宅横の道場で教えたり、広く北勢地方の師範への指導や、昇段審査地区大会を行うなど、幅広く活躍されています。また昭和五十一年に三重県吟詠詩舞道総連盟理事長に



就任するなど、本市の吟詠の普及に貢献され、平成十年市文化功労者に選ばれました。

交通安全を願う 高齢者の一日講習

交通安全協会小山田支部

矢田 勇

平素は交通安全並びに支部諸活動に格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成十年度は支部の会員に運転免許証更新時特任意講習会を開催し便宜を図りました。また道路交通法の一部改正により、昨年十二月より七十五歳以上の方は免許更新時

に自動車学校の講習終了証明書が必要となりました。そこで、支部としてより多く練習していただくために高齢者に呼びかけ、自動車学校を一日貸し切りにして、参加して頂きました。

また交通安全のための約束免許証を発行しました。

和無田町子供会 県子供会連合会と市から表彰

子供会育成者会 小林 秀一

本年度の小山田地区子供会は、喜ばしいことが多かったと思います。

特に和無田町子供会が四月のこどもまつりで四日市市から優良少年団体として、また、十二月にも三重県子供会連合会から表彰を受けました。

これは地区子供会にとっても大変誇らしいできごとでした。現在の和無田町子供会のメンバー、そして指導頂いている育成者もとより今まで和無田町子供会にかかわった

子供たち、地区の人達全員の努力で獲得した賞だと思えます。関係者の皆様本当におめでとうございました。

今回の受賞理由は二つありました。一つは子供会でフラワー道路をはじめ通学路の清掃活動を長年行っていること

もう一つは少人数の子供会であっても、小山田地区全体の子供会行事に積極的に参加し大いに行事を盛り上げてくれたことです。人数が少なくてもコツコツと活動する地道で誠実な行動



和無田町子供会のみなさん

火災予防は日頃の心がけから

○火災原因のファースト3……放火・こんろ・たばこ
火災原因は依然として、たばこ、たきびの不始末・てんぷら油からの出火等、ちょっとした不注意での失火が多数を占めています。
各家庭、地域において防火の心構えを徹底し、大切な生命、財産を守るよう努力しましょう。

地区文化祭で約束免許証を発行する支部役員さん



今後も地区の交通安全の事業を実施していきたいと思っています。

趣味や奉仕で楽しく

地区老人会 伊藤 美敏

小山田地区の老人会も結成以来三十数年、四日市老連の中でいろいろな行事に参加しています。

菊作り講習会、ゲートボール大会、趣味の作品展、将棋大会、大四日市まつり芸能大会、高齢者交通安全の集い、老人福祉大会、スポーツ大会、菊花作品展、囲碁大会。

また地区においては女性全員による雑巾作り、九月二十日社会奉仕の日、本年度より

市の要請もあり老人ホームの草刈清掃等の奉仕活動を毎月二回実施しています。

高齢者教室を単位クラブ毎に開いて、講師をお招きして高齢者の生き方等のお話をしていただいています。

また年数回の研修旅行によって見聞を広げ会員相互の親睦を図っています。なお各単位クラブにおいて、地区の清掃等の活動も行っています。



元気に草刈り奉仕する老人会のみなさん

歴史探訪 ④



森田春男氏と灯籠 左は田中弘治郎氏

献灯続けて二百年、今は昔

六名町 田中 弘治郎

氏神の東南方二百メートルの所に、灯明畑という小高い宮地がありました。

中央に篝火台を設け毎年正月十五日には伊勢大神宮に向かって火を捧げ、今年の豊作と災難除けの祈願を為し、十二月七日には赤飯と大篝を焚いて豊年を感謝しておりましたが、寛政六年（一七九五）寅の正月に篤信者の平兵衛という方が立派な石灯籠を寄付されましたので、天子が毎夜順番にて灯火を献けることに決まりました。

廻つてきた灯明畑には種油灯、芯火灯、石火綿などが入っております。

細い曲りくねつた急な坂道を登り、前夜の汚れをきれいに拭いて油に火を点け、大神宮に向かつて天下恭平、家内安全、五穀豊作、海上安全を祈願、神徳感謝のお礼をいた

す。

します。お礼が済んだら山を下りて隣家へ灯明箱を渡しませす。皆、喜んで献灯を続けました。これに必要な費用は灯明畑という免税の土地があり、その收穫物代を当てました。

大正四年十一月、大正天皇ご即位大札記念に折戸三百十八番地に新しく常夜灯を建立し、毎夜の献灯はここで行うように変わりました。

昭和三年十一月、昭和天皇ご即位大札の日から、油火の灯明から電気の灯明に切り替えました。長い年月続いた献火の行事も、時代の波で一つ無くなりました。

古い石灯籠や灯明畑は処分され、灯籠は六名町三百十六番地の森田春男様宅にあります。平兵衛翁の血縁は鹿間町四百四十一番地、近藤朝行様です。

最近のことですが、西山町の古図面と出会いました。

それによれば、「三重郡山田邑之枝郷西山村字大澤千二百分ノ一縮図 反別八反四畝式歩 内壺反四畝式拾九歩宅地」と記されています。

惜しくも田畑山林については、凡例の部分が破損していて知ることはできません。

それでも図面には、山林・田・畑・池・宅地・墓地・道路・用水路などの記載があり往時を知るうえで手がかりになる資料であります。

また、それぞれの土地には地目と地番が記してありますから、現在と比較すれば移り変わりが分かるというものです。当時、この図面では民家は

昔、草競馬場があった

西山町郷土史研究会代表 三橋 洋

壺戸のみにて、その宅地は、「内壺反四畝式拾九歩」と記されているものが一筆載っております。

水澤との村境と記されている箇所までの間には、民居を確認することはできません。おそらく図面から推察すると、大澤は、今からは想像できない山林地帯であったと思われる資料であります。

隣接する水澤青木「宇戸谷図」という古図がありますが、山林の占める割合はかなりのものであります。ところで、この古図面を調べていた会員から意外なこと

を聞いたのです。「昔この辺りに草競馬場があった」というのです。そこでこの古図面を古老に見せて確かめることになりました。

古老の話
「地主が、大小二つあった溜池を、近くの山土を崩して埋めてしまった。そして出来た平地に草競馬を造った。そこでは度々ではあったが競馬が行われ賑った。それも何時の頃からか廃れてなくなり、人家にかわってしまった。」
と話してくれました。



矢印が草競馬場

小山田地区の小字名

鹿間町 萩 伸 元

小山田には、小字名が百五十四カ所あります。

町ノ大字ノ町境界を、さらに細かく分けた部分の土地を小字といいます。

小字は地籍上にあり、現在も使われ、「登記簿」に記載されています。特質な読み方として昔から引き継がれています。

各町の子字名は、次のとおりです。

【山田町】大坪、大玄、向山、野

田ノ谷、大倉、大畑、吉田ヶ原、佃、東山、ホタ界外、川南、霜田、大川原、宮蔵、笹原、小鹿、栃ノ木、樫ノ木、中尾山、口ヶ畑、西尾山、和田ヶ平、才山、大欠、狐久保、南大沢。(二十六カ所)

【内山町】城之山、仲尾、大亀谷、笹山、藤原、高砂。(六カ所)
【小山町】大野、足見川、大欠、大岨、岨界外、欠ノ下、小北、開都、北河原、東田、南ヶ平、南

西起、山々口。(三十四カ所)
【堂ヶ山町】大脇、小脇、下大塚、谷、中野、大塚下、神明、堂山、東川原、東田、細田、笠掛馬場、別所、花ノ木、山神、一色、東北山、札木、道々、西札木、北山、一色山、上大塚谷、大塚野、梨ノ木沢、大沢。(二十五カ所)
【和無田町】的場、西ノ口、大開戸、南浦、東条山中、丸市、荒堀、河田川原、椎ノ木、東野、丸山、東堀、荒野、南荒野、三条、西堀、山ノ下。(十七カ所)
【美里町】北野、北山、南大沢、小割、小山崎、内戸谷。(六カ

この人訪ね

⑭ 土と炎の芸術 茶碗一筋に

山田町 矢田信夫さん(雅号 忍)



碗で終わるといいますが、茶碗作りの奥行きは深く、部分部分にさまざまな約束事がありますから、まずは光悦が長次郎の写しを作るつもりで始めるのもいいでしょう。師匠の東さんは、点てよい飲みよい、扱いよいの他に、初で、素直で、品のいい茶碗を作りなさいと教えられました。その後作陶を中断しましたが、昭和五十八年に四日市市熟年大学が開校されましたので、第一期生として入学し、クラブ活動でやきものを選択し、再度茶碗作りを始めました。

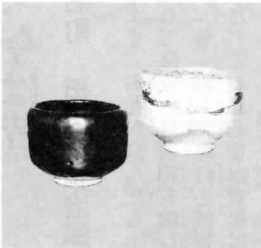
熟年大学終了後も、小山田地区市民センターの陶芸教室と、青山里会の登り窯に毎年参加しています。わたしの茶碗作りはすべて手びねりで、茶溜り(内側の底)は古電球を利用しており、高台(糸底)は自作の仕上げかんんで削り出しております。

やきもの一番安価なものも茶碗で、また、一番高価なものも茶碗です。

昭和六十三年以来、毎年四日市市美術展に抹茶茶碗を出品され、入選十数回という山田町の矢田信夫さんを訪ね、お話しを聞きました。

やきものとの出会いは、昭和四十二年に京都府加茂町の陶工、東政右衛門さんを訪問した時、記念に茶碗を作ってみたのがきっかけで、それから約二年間、毎月一回の手解きを受けました。

陶芸は、茶碗から始めて茶



文芸

川柳

俳句

- 春風と握手を交わす散歩道
- 若い気へ痛む足腰
- 邪魔をする
- 食べすぎを無言で知らす

体重計

山田町 矢田まさ子

空に伸び

- セメントの隙き間で草が
- 大空を我が物顔に鯉のぼり
- 夕空晴れて秋がそこまで
- 温室のみかん青空

赤トンボ

- あこがれる

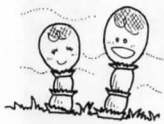
鹿間町 酒井 三春

- せせらぎの音へ甘えた

尾氈骨

- 同情は無用厳しい橋渡る

山田町 矢田 照子



地区の人口

(平成11年1月1日現在)

町名	世帯数	人口		合計
		男	女	
山田町 (内老人ホーム)	977 (473)	874 (113)	1,208 (371)	2,082 (484)
鹿間町	276	431	461	892
西山町	205	352	378	730
小山町	151	287	295	582
堂ヶ山町	120	235	244	479
和无田町	104	187	191	378
内山町	59	97	116	213
六名町	48	90	84	174
美里町	33	90	95	185
合計	1,973	2,643	3,072	5,715

短歌

- 窓越しに歓声挙げつ遠花火
- 筆き替への瓦まぶしや蝉しぐれ
- 風鈴の音にさそわれ昼寝かな
- 炊仕事風に秋立つ思いかな
- 夕空晴れて秋がそこまで
- 赤トンボ
- あこがれる
- 温室のみかん青空
- セメントの隙き間で草が
- 大空を我が物顔に鯉のぼり
- 夕空晴れて秋がそこまで
- 赤トンボ
- あこがれる
- 鹿間町 酒井 三春

- 咲きたけてなおかくまでに白いくる梔子の花にそつと頬寄す
- 田植機の音のみひびく梅雨晴れ間たんぼの仕事もなべて機械化
- ハイウェイなべて茜に染まりいてヘッドライトは天空に融け合っ
- 釣り竿に這いのぼりたる朝顔の朝露おきて藍きわまりぬ

鹿間町 酒井 三春

編集後記

今号は「福祉」をテーマとして特集を組みました。平成十二年度から介護保険がスタートします。介護を必要とする人へのどんなサービスも、「やさしさ」を基点としたものであつてほしいと願っています。

広報「おやまだ」第十九号を皆様に無事お届けすることができ、広報部員一同「ホッ」としています。どうぞ一読ください。

原稿をお寄せいただいた皆様に厚くお礼申し上げます。

文化広報部長 萩 伸元